

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年11月17日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-351913

出 願 人

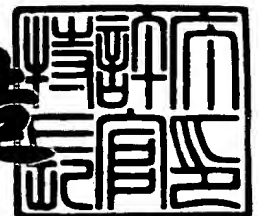
Applicant (s):

株式会社スクウェア

2001年 2月 9日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3006639

【書類名】 特許願

【整理番号】 00P00007

【提出日】 平成12年11月17日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 13/00
G06F 17/20

【発明の名称】 情報処理装置、メッセージ通信方法、記録媒体およびコンピュータ・プログラム

【請求項の数】 13

【発明者】

【住所又は居所】 東京都目黒区下目黒1丁目8番1号 株式会社スクウェア内

【氏名】 前廣 和豊

【発明者】

【住所又は居所】 東京都目黒区下目黒1丁目8番1号 株式会社スクウェア内

【氏名】 高田 正行

【特許出願人】

【識別番号】 391049002

【氏名又は名称】 株式会社スクウェア

【代理人】

【識別番号】 100077481

【弁理士】

【氏名又は名称】 谷 義一

【選任した代理人】

【識別番号】 100088915

【弁理士】

【氏名又は名称】 阿部 和夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100106998

【弁理士】

【氏名又は名称】 橋本 傳一

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 013424

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0013246

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報処理装置、メッセージ通信方法、記録媒体およびコンピュータ・プログラム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 通信ネットワークを介して他の情報処理装置にスケジュールに関するメッセージを送信し、前記他の情報処理装置では、送信された前記メッセージを解析して前記スケジュールに関する語句を抽出してスケジュールに登録可能な情報処理装置において、

語句と識別子とを対応付けた第1のデータセットを複数記憶した第1の記憶手段であって、前記他の情報処理装置側の第2の記憶手段には、前記識別子と、前記第1のデータセットにおいて前記識別子に対応付けられた語句と共通の意味内容を有する語句とを対応付けた第2のデータセットが複数記憶されている第1の記憶手段と、

該第1の記憶手段に記憶された語句の中から少なくとも1つの語句を選択する語句選択手段と、

該選択された語句に対応する識別子を前記第1のデータセットから抽出する抽出手段と、

該抽出された識別子を前記メッセージとして送信する送信手段と

を備え、前記他の情報処理装置では、前記第2の記憶手段に記憶された前記第2のデータセットに基づいて、前記送信手段により送信された識別子を語句に変換することを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】 請求項1に記載の情報処理装置において、前記第1の記憶手段に記憶される語句は第1の言語による語句であり、前記第2の記憶手段に記憶される語句は第1の言語とは異なる第2の言語による語句であることを特徴とする情報処理装置。

【請求項3】 請求項1または請求項2に記載の情報処理装置において、前記第1の記憶手段および第2の記憶手段に登録される語句はカテゴリごとに分かれて記憶されていることを特徴とする情報処理装置。

【請求項4】 通信ネットワークを介してスケジュールに関するメッセージ

を他の情報処理装置から受信し、受信したメッセージを解析し、スケジュールに関する語句を抽出してスケジューラに登録可能な情報処理装置において、

語句と識別子とを対応付けた第 1 のデータセットを複数記憶した第 1 の記憶手段であって、前記他の情報処理装置側の第 2 の記憶手段には、前記識別子と、前記第 1 のデータセットにおいて前記識別子に対応付けられた語句と共通の意味内容を有する語句とを対応付けた第 2 のデータセットが複数記憶されている第 1 の記憶手段と、

前記第 1 の記憶手段に記憶された前記第 1 のデータセットに基づいて、識別子の形態で前記他の情報処理装置から送られたメッセージを語句に変換する変換手段と、

該変換手段により変換された語句を前記スケジューラに登録する登録手段とを備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 5】 請求項 4 に記載の情報処理装置において、前記第 1 の記憶手段に記憶される前記語句は第 1 の言語による語句であり、前記第 2 の記憶手段に記憶される語句は前記第 1 の言語とは異なる第 2 の言語による語句であることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 6】 請求項 4 または 5 に記載の情報処理装置において、前記第 1 の記憶手段および前記第 2 の記憶手段に記録される語句はカテゴリごとに分かれて記憶されていることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 7】 請求項 4 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置において、前記登録手段により前記語句が前記スケジューラに登録された場合、前記他の情報処理装置から受信した前記メッセージを前記他の情報処理装置に返送する返送手段を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 8】 通信ネットワークを介して他の情報処理装置にスケジュールに関するメッセージを送信し、前記他の情報処理装置では、送信された前記メッセージを解析して前記スケジュールに関する語句を抽出してスケジューラに登録可能なメッセージ通信方法において、

語句と識別子とを対応付けた第 1 のデータセットを情報処理装置側の記憶装置に複数記憶する記憶ステップであって、前記他の情報処理装置側の記憶装置には

、前記識別子と、前記第 1 のデータセットにおいて前記識別子に対応付けられた語句と共通の意味内容を有する語句とを対応付けた第 2 のデータセットが複数記憶されている記憶ステップと、

該記憶ステップにおいて記憶された語句の中から少なくとも 1 つの語句を選択する語句選択ステップと、

該選択された語句に対応する識別子を前記第 1 のデータセットから抽出する抽出ステップと、

該抽出された識別子を前記メッセージとして送信する送信ステップと

を備え、前記他の情報処理装置では、前記第 2 のデータセットに基いて、前記送信手段により送信された識別子を語句に変換することを特徴とするメッセージ通信方法。

【請求項 9】 通信ネットワークを介してスケジュールに関するメッセージを他の情報処理装置から受信し、受信したメッセージを解析し、スケジュールに関する語句を抽出してスケジュールに登録可能なメッセージ通信方法において、

語句と識別子とを対応付けた第 1 のデータセットを情報処理装置側の記憶装置に複数記憶する記憶ステップであって、前記他の情報処理装置側の記憶装置には、前記識別子と、前記第 1 のデータセットにおいて前記識別子に対応付けられた語句と共通の意味内容を有する語句とを対応付けた第 2 のデータセットが複数記憶されている記憶ステップと、

前記記憶ステップにおいて記憶された第 2 のデータセットに基いて識別子の形態で前記他の情報処理装置から送られたメッセージを、前記第 1 のデータセットに基づいて語句に変換する変換ステップと、

該変換ステップにおいて変換された語句を前記スケジュールに登録する登録ステップと

を備えたことを特徴とするメッセージ通信方法。

【請求項 10】 通信ネットワークを介して他の情報処理装置にスケジュールに関するメッセージを送信し、前記他の情報処理装置では、送信された前記メッセージを解析して前記スケジュールに関する語句を抽出してスケジュールに登録可能な情報処理装置により実行されるプログラムを記録した記録媒体において

語句と識別子とを対応付けた第 1 のデータセットを情報処理装置側の記憶装置に複数記憶する記憶ステップであって、前記他の情報処理装置側の記憶装置には、前記識別子と、前記第 1 のデータセットにおいて前記識別子に対応付けられた語句と共通の意味内容を有する語句とを対応付けた第 2 のデータセットが複数記憶されている記憶ステップと、

該記憶ステップにおいて記憶された語句の中から少なくとも 1 つの語句を選択する語句選択ステップと、

該選択された語句に対応する識別子を抽出する抽出ステップと、

該抽出された識別子を前記メッセージとして送信する送信ステップと

を実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 1 1】 通信ネットワークを介してスケジュールに関するメッセージを他の情報処理装置から受信し、受信したメッセージを解析し、スケジュールに関する語句を抽出してスケジュールに登録可能な情報処理装置により実行されるプログラムを記録した記録媒体において、

語句と識別子とを対応付けた第 1 のデータセットを情報処理装置側の記憶装置に複数記憶する記憶ステップであって、前記他の情報処理装置側の記憶装置には、前記識別子と、前記第 1 のデータセットにおいて前記識別子に対応付けられた語句と共通の意味内容を有する語句とを対応付けた第 2 のデータセットが複数記憶されている記憶ステップと、

前記記憶ステップにおいて記憶された第 2 のデータセットに基づいて識別子の形態で前記他の情報処理装置から送られた前記メッセージを、前記第 1 のデータセットに基づいて語句に変換する変換ステップと、

該変換ステップにおいて変換された語句を前記スケジュールに登録する登録ステップと

を実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 1 2】 通信ネットワークを介して他の情報処理装置にスケジュー

ルに関するメッセージを送信し、前記他の情報処理装置では、送信された前記メッセージを解析して前記スケジュールに関する語句を抽出してスケジューラに登録可能な情報処理装置に実行させるためのコンピュータ・プログラムにおいて、

語句と識別子とを対応付けた第 1 のデータセットを情報処理装置側の記憶装置に複数記憶する記憶ステップであって、前記他の情報処理装置側の記憶装置には、前記識別子と、前記第 1 のデータセットにおいて前記識別子に対応付けられた語句と共通の意味内容を有する語句とを対応付けた第 2 のデータセットが複数記憶されている記憶ステップと、

該記憶ステップにおいて記憶された語句の中から少なくとも 1 つの語句を選択する語句選択ステップと、

該選択された語句に対応する識別子を抽出する抽出ステップと、

該抽出された識別子を前記メッセージとして送信する送信ステップと
を実行させることを特徴とするコンピュータ・プログラム。

【請求項 1 3】 通信ネットワークを介してスケジュールに関するメッセージを他の情報処理装置から受信し、受信したメッセージを解析し、スケジュールに関する語句を抽出してスケジューラに登録可能な情報処理装置に実行させるためのコンピュータ・プログラムにおいて、

語句と識別子とを対応付けた第 1 のデータセットを情報処理装置側の記憶装置に複数記憶する記憶ステップであって、前記他の情報処理装置側の記憶装置には、前記識別子と、前記第 1 のデータセットにおいて前記識別子に対応付けられた語句と共通の意味内容を有する語句とを対応付けた第 2 のデータセットが複数記憶されている記憶ステップと、

前記記憶ステップにおいて記憶された前記第 2 のデータセットに基づいて識別子の形態で前記他の情報処理装置から送られた前記メッセージを、前記第 1 のデータセットに基づいて語句に変換する変換ステップと、

該変換ステップにおいて変換された語句を前記スケジューラに登録する登録ステップと

を実行させることを特徴とするコンピュータ・プログラム。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、情報処理装置およびメッセージ通信方法、記録媒体およびコンピュータ・プログラムに関し、受信したメッセージに基づいてスケジュールの登録を行なうことができる情報処理装置およびメッセージ通信方法、記録媒体およびコンピュータ・プログラムに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

従来から知られている、個人のスケジュールを管理するためのソフト（以下、スケジューラという）では、自己のコンピュータ（情報処理装置）に対してユーザが手入力により自己のスケジュールを登録する。たとえば、電子メール等で友人と待ち合わせの約束をする場合、待ち合わせの日時と場所をメールでコンピュータから相手のコンピュータに送信する。そのメールを受け取った友人は、指定された日時や場所を自分のコンピュータのスケジューラへ入力する。

【 0 0 0 3 】

このようなスケジューラへの入力作業は各コンピュータのユーザに対して課せられる煩雑な作業である。そこで、受信したメールを使用して、スケジューラへスケジュールの入力を行なう技術が開発されている。

【 0 0 0 4 】

たとえば、特開平 1 1 - 2 5 9 5 6 8 号公報には、コンピュータが電子メール本文の内容を解析し、その電子メールがスケジューラに書き込む内容であると判断したときに、コンピュータが受信メールの内容を自動的に書き込む処理を行なう手法が開示されている。

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、従来から知られているスケジューラへのデータ入力の手法では、メールを受信するコンピュータがメールの内容を解析しなければならず、受信側コンピュータの負荷が大きかった。

【 0 0 0 6 】

また、メールに使用される語句の意味解析や文法解析が必要であることから、解析に時間がかかるという問題がある。

【0007】

そこで、本発明の目的は、スケジューラへの登録のために、メッセージの解析時間を短縮することができる情報処理装置およびメッセージ通信方法ならびに記録媒体を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】

このような目的を達成するために、請求項1に記載の発明は、通信ネットワークを介して他の情報処理装置にスケジュールに関するメッセージを送信し、前記他の情報処理装置では、送信された前記メッセージを解析して前記スケジュールに関する語句を抽出してスケジューラに登録可能な情報処理装置において、語句と識別子とを対応付けた第1のデータセットを複数記憶した第1の記憶手段であって、前記他の情報処理装置側の第2の記憶手段には、前記識別子と、前記第1のデータセットにおいて前記識別子に対応付けられた語句と共通の意味内容を有する語句とを対応付けた第2のデータセットが複数記憶されている第1の記憶手段と、該第1の記憶手段に記憶された語句の中から少なくとも1つの語句を選択する語句選択手段と、該選択された語句に対応する識別子を前記第1のデータセットから抽出する抽出手段と、該抽出された識別子を前記メッセージとして送信する送信手段とを備え、前記他の情報処理装置では、前記第2の記憶手段に記憶された前記第2のデータセットに基いて、前記送信手段により送信された識別子を語句に変換することを特徴とする。

【0009】

また、請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の情報処理装置において、前記第1の記憶手段に記憶される語句は第1の言語による語句であり、前記第2の記憶手段に記憶される語句は第1の言語とは異なる第2の言語による語句であることを特徴とする。

【0010】

また、請求項3に記載の発明は、請求項1または請求項2に記載の情報処理装

置において、前記第 1 の記憶手段および第 2 の記憶手段に記録される語句はカテゴリごとに分かれて記憶されていることを特徴とする。

【0 0 1 1】

また、請求項 4 に記載の発明は、通信ネットワークを介してスケジュールに関するメッセージを他の情報処理装置から受信し、受信したメッセージを解析し、スケジュールに関する語句を抽出してスケジューラに登録可能な情報処理装置において、語句と識別子とを対応付けた第 1 のデータセットを複数記憶した第 1 の記憶手段であって、前記他の情報処理装置側の第 2 の記憶手段には、前記識別子と、前記第 1 のデータセットにおいて前記識別子に対応付けられた語句と共通の意味内容を有する語句とを対応付けた第 2 のデータセットが複数記憶されている第 1 の記憶手段と、前記第 1 の記憶手段に記憶された前記第 1 のデータセットに基づいて、識別子の形態で前記他の情報処理装置から送られたメッセージを語句に変換する変換手段と、該変換手段により変換された語句を前記スケジューラに登録する登録手段とを備えたことを特徴とする。

【0 0 1 2】

また、請求項 5 に記載の発明は、請求項 4 に記載の情報処理装置において、前記第 1 の記憶手段に記憶される前記語句は第 1 の言語による語句であり、前記第 2 の記憶手段に記憶される語句は前記第 1 の言語とは異なる第 2 の言語による語句であることを特徴とする。

【0 0 1 3】

また、請求項 6 に記載の発明は、請求項 4 または 5 に記載の情報処理装置において、前記第 1 の記憶手段および前記第 2 の記憶手段に記録される語句はカテゴリごとに分かれて記憶されていることを特徴とする。

【0 0 1 4】

また、請求項 7 に記載の発明は、請求項 4 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置において、前記登録手段により前記語句が前記スケジューラに登録された場合、前記他の情報処理装置から受信した前記メッセージを前記他の情報処理装置に返送する返送手段を備えたことを特徴とする。

【0 0 1 5】

また、請求項 8 に記載の発明は、通信ネットワークを介して他の情報処理装置にスケジュールに関するメッセージを送信し、前記他の情報処理装置では、送信された前記メッセージを解析して前記スケジュールに関する語句を抽出してスケジューラに登録可能なメッセージ通信方法において、語句と識別子とを対応付けた第 1 のデータセットを情報処理装置側の記憶装置に複数記憶する記憶ステップであって、前記他の情報処理装置側の記憶装置には、前記識別子と、前記第 1 のデータセットにおいて前記識別子に対応付けられた語句と共通の意味内容を有する語句とを対応付けた第 2 のデータセットが複数記憶されている記憶ステップと、該記憶ステップにおいて記憶された語句の中から少なくとも 1 つの語句を選択する語句選択ステップと、該選択された語句に対応する識別子を前記第 1 のデータセットから抽出する抽出ステップと、該抽出された識別子を前記メッセージとして送信する送信ステップとを備え、前記他の情報処理装置では、前記第 2 のデータセットに基いて、前記送信手段により送信された識別子を語句に変換することを特徴とする。

【 0 0 1 6 】

また、請求項 9 に記載の発明は、通信ネットワークを介してスケジュールに関するメッセージを他の情報処理装置から受信し、受信したメッセージを解析し、スケジュールに関する語句を抽出してスケジューラに登録可能なメッセージ通信方法において、語句と識別子とを対応付けた第 1 のデータセットを情報処理装置側の記憶装置に複数記憶する記憶ステップであって、前記他の情報処理装置側の記憶装置には、前記識別子と、前記第 1 のデータセットにおいて前記識別子に対応付けられた語句と共通の意味内容を有する語句とを対応付けた第 2 のデータセットが複数記憶されている記憶ステップと、前記記憶ステップにおいて記憶された第 2 のデータセットに基いて識別子の形態で前記他の情報処理装置から送られたメッセージを、前記第 1 のデータセットに基づいて語句に変換する変換ステップと、該変換ステップにおいて変換された語句を前記スケジューラに登録する登録ステップとを備えたことを特徴とする。

【 0 0 1 7 】

また、請求項 1 0 に記載の発明は、通信ネットワークを介して他の情報処理装

置にスケジュールに関するメッセージを送信し、前記他の情報処理装置では、送信された前記メッセージを解析して前記スケジュールに関する語句を抽出してスケジュールに登録可能な情報処理装置により実行されるプログラムを記録した記録媒体において、語句と識別子とを対応付けた第 1 のデータセットを情報処理装置側の記憶装置に複数記憶する記憶ステップであって、前記他の情報処理装置側の記憶装置には、前記識別子と、前記第 1 のデータセットにおいて前記識別子に対応付けられた語句と共通の意味内容を有する語句とを対応付けた第 2 のデータセットが複数記憶されている記憶ステップと、該記憶ステップにおいて記憶された語句の中から少なくとも 1 つの語句を選択する語句選択ステップと、該選択された語句に対応する識別子を抽出する抽出ステップと、該抽出された識別子を前記メッセージとして送信する送信ステップとを実行させるためのプログラムを記録する。

【 0 0 1 8 】

また、請求項 1 1 に記載の発明は、通信ネットワークを介してスケジュールに関するメッセージを他の情報処理装置から受信し、受信したメッセージを解析し、スケジュールに関する語句を抽出してスケジュールに登録可能な情報処理装置により実行されるプログラムを記録した記録媒体において、語句と識別子とを対応付けた第 1 のデータセットを情報処理装置側の記憶装置に複数記憶する記憶ステップであって、前記他の情報処理装置側の記憶装置には、前記識別子と、前記第 1 のデータセットにおいて前記識別子に対応付けられた語句と共通の意味内容を有する語句とを対応付けた第 2 のデータセットが複数記憶されている記憶ステップと、前記記憶ステップにおいて記憶された第 2 のデータセットに基いて識別子の形態で前記他の情報処理装置から送られた前記メッセージを、前記第 1 のデータセットに基づいて語句に変換する変換ステップと、該変換ステップにおいて変換された語句を前記スケジュールに登録する登録ステップとを実行させるためのプログラムを記録する。

【 0 0 1 9 】

また、請求項 1 2 に記載の発明は、通信ネットワークを介して他の情報処理装置にスケジュールに関するメッセージを送信し、前記他の情報処理装置では、送

信された前記メッセージを解析して前記スケジュールに関する語句を抽出してスケジュールに登録可能な情報処理装置に実行させるためのコンピュータ・プログラムにおいて、語句と識別子とを対応付けた第 1 のデータセットを情報処理装置側の記憶装置に複数記憶する記憶ステップであって、前記他の情報処理装置側の記憶装置には、前記識別子と、前記第 1 のデータセットにおいて前記識別子に対応付けられた語句と共通の意味内容を有する語句とを対応付けた第 2 のデータセットが複数記憶されている記憶ステップと、該記憶ステップにおいて記憶された語句の中から少なくとも 1 つの語句を選択する語句選択ステップと、該選択された語句に対応する識別子を抽出する抽出ステップと、該抽出された識別子を前記メッセージとして送信する送信ステップとを実行させることを特徴とする。

【 0 0 2 0 】

さらに、請求項 1 3 に記載の発明は、通信ネットワークを介してスケジュールに関するメッセージを他の情報処理装置から受信し、受信したメッセージを解析し、スケジュールに関する語句を抽出してスケジュールに登録可能な情報処理装置に実行させるためのコンピュータ・プログラムにおいて、語句と識別子とを対応付けた第 1 のデータセットを情報処理装置側の記憶装置に複数記憶する記憶ステップであって、前記他の情報処理装置側の記憶装置には、前記識別子と、前記第 1 のデータセットにおいて前記識別子に対応付けられた語句と共通の意味内容を有する語句とを対応付けた第 2 のデータセットが複数記憶されている記憶ステップと、前記記憶ステップにおいて記憶された前記第 2 のデータセットに基いて識別子の形態で前記他の情報処理装置から送られた前記メッセージを、前記第 1 のデータセットに基づいて語句に変換する変換ステップと、該変換ステップにおいて変換された語句を前記スケジュールに登録する登録ステップとを実行させることを特徴とする。

【 0 0 2 1 】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照し、本実施形態について詳細に説明する。

【 0 0 2 2 】

図 1 は、本実施形態に係るメッセージ通信方法を適用したシステムの構成の一

例を示す。インターネット 1 0 1 には、インターネット・サービス・プロバイダ (ISP) のサーバ 1 0 2 と、ビデオゲーム機 1 0 3 a, 1 0 3 b と、汎用コンピュータ 1 0 4 a, 1 0 4 b とが接続されている。ISP のサーバ 1 0 2 は、以下の複数のサーバ群から構成されている。すなわち、ISP のサーバ 1 0 2 内では、ユーザ認証のためのアカウント管理を行う認証サーバ群 1 1 1 と、音声や動画などのコンテンツの閲覧サービスを提供するコンテンツサーバ群 1 1 2 と、チャットやメッセージャーの環境を提供するメッセージサーバ群 1 1 3 と、電子メールのサービスを提供するためのメールサーバ群 1 1 4 と、ユーザのプロファイルを管理するためのプロフィールサーバ群 1 1 5 と、ゲーム環境を提供するためのゲームサーバ群 1 1 6 a, 1 1 6 b とが LAN 1 1 7 を介して接続されている。

【 0 0 2 3 】

このような構成により、ユーザは、ビデオゲーム機 1 0 3 a, 1 0 3 b または汎用コンピュータ 1 0 4 a, 1 0 4 b などのユーザ端末から、インターネット 1 0 1 を介して、サーバ 1 0 2 内の認証サーバ群 1 1 1 にアクセスして本人認証を得る。サーバ 1 0 2 は、認証を得たクライアントに対し、メニュー画面を送信する。ユーザがメニュー画面に表示された各サービスを選択することにより、ビデオゲーム機 1 0 3 a, 1 0 3 b または汎用コンピュータ 1 0 4 a, 1 0 4 b がサービスに応じた各サーバ群に接続されて、ユーザは、各種の情報サービスを受けることができる。

【 0 0 2 4 】

図 2 は、本実施形態に係るビデオゲーム機または汎用コンピュータ（以下、「ユーザ端末」という）として使用されるコンピュータ・システムのハードウェア構成を示す。ユーザ端末は、中央処理装置 (CPU) 2 0 1 と RAM 2 0 5 とを備え、この CPU 2 0 1 及び RAM 2 0 5 は、バス 2 0 7 を介して、補助記憶装置 2 0 9、ROM 2 0 3 と接続されている。補助記憶装置 2 0 9 は、たとえばハードディスク・ドライブや CD-ROM ドライブ、DVD (Digital Video Disk) ドライブ等を使用することができる。

【 0 0 2 5 】

補助記憶装置 2 0 9 には、メッセージ送受信プログラムとしてのメールソフトや、スケジューラ等の、本発明に関わる処理を実行するためのプログラムや、これらのプログラムによって参照されるデータ等が記録されている。

【 0 0 2 6 】

通信インタフェース 2 1 1 は、バス 2 0 7 に結合されており、例えばインターネットへのデータ通信接続を可能とするサービス統合デジタル網 (ISDN) カード、またはモデムを使用することができる。

【 0 0 2 7 】

表示装置 2 1 5 は、LCD (Liquid Crystal Display) や CRT (Cathode-Ray Tube) 等を使用することができる。入力装置 2 1 3 は、文字や数字を入力するために使用され、たとえばキーボード、マウス、トラックボールなどのポインティングデバイスを使用することができる。これらの構成部は、バス 2 0 7 を介して結合されている。

【 0 0 2 8 】

本発明の諸機能は、ROM 2 0 3 に格納されたコンピュータ・プログラムを、CPU 2 0 1 が実行することにより達成される。したがって、このコンピュータプログラムの命令を実行する CPU 2 0 1 は本発明の送信部、抽出部、変換部、登録部および返送部等として機能することとなる。このコンピュータ・プログラムは、オペレーティングシステムと協働して実行される。オペレーティング・システムとしては、標準で GUI マルチウインドウ環境をサポートするものが望ましいが、本発明は特定のオペレーティング・システム環境に限定されるものではない。

【 0 0 2 9 】

図 3 は、ユーザ端末の補助記憶装置 2 0 9 に記憶されているデータテーブルの一例を示す。図 3 に示す例では、データテーブル 3 1 3 a は、「どこで」すなわち場所のカテゴリのテーブル 3 0 0 と、「誰が」すなわち行為者のカテゴリのテーブル 3 0 2 と、「どうする」すなわち行為のカテゴリのテーブル 3 0 4 とを含んでいる。各カテゴリに含まれる各語句には、識別子が割り当てられ、本実施形態では識別子として数字が使用されている。

【 0 0 3 0 】

このようなデータテーブルは、メッセージ送受信のプログラムをインストールしたときにユーザ端末に搭載されるので、送信側端末、受信側端末共に、共通の意味内容の語句および識別子を1組としたデータセットを含むテーブルを有することになる。従って、あるユーザ端末に記憶されているデータセットと、他のユーザ端末に記憶されているデータセットでは、後述するように、同一の識別子に対して意味内容が共通した異なる語句が割り当てられている場合がある。

【 0 0 3 1 】

図4は、本実施形態に係るスケジュールの登録処理のための処理手順を示す。以下、図4を参照し、ビデオゲーム機103aのユーザ（以下、ユーザAという）からビデオゲーム機103bのユーザ（以下、ユーザBという）へメッセージを送信する場合を例に挙げて、本実施形態に係るメッセージの通信処理について説明する。

【 0 0 3 2 】

本発明では、メッセージを送信するにあたって、いつ、どこで等の語句毎に分けてデータを入力する。また、メッセージの入力は、項目毎にメニューから選択することで行なう。メッセージは、複数の語句によって構成される（以下、メッセージを構成する語句を「語句のセット」という）。メッセージを構成する語句には識別子が付与されており、相手には語句のセットに対応する識別子のセットのみが送信される。受信側では、識別子に対応する文字を画面に表示する。

【 0 0 3 3 】

まず、ユーザAがユーザBに対して、スケジュールに関する問い合わせを行う場合、ビデオゲーム機103aを使用してメッセージ送受信のプログラム（メールソフト）を起動する。すると、このプログラムを実行するCPU201は、図3の例に示すデータテーブル313aに記憶されている語句を抽出し、抽出された語句の一覧を作成する。そして、この一覧表を表示装置215に表示して、一覧表に含まれている語句の選択を受付ける（ステップS8001）。

【 0 0 3 4 】

図5は、ビデオゲーム機の表示手段に表示されるメッセージ入力画面の一例を

示す。ユーザAはマウス等を使用し、この一覧表の中の「いつ」「どこで」「誰が」「どうする」といったカテゴリから適当な語句を選択することにより、ユーザBへ送信するメッセージを作成する。

【0035】

ユーザAによりメッセージの作成が行なわれると、ビデオゲーム機103aは、メッセージ送受信プログラムに基づき、選択された語句に対応する識別子のセットをデータテーブル313aから抽出する。そして、抽出された識別子のセットを送信する（ステップS8003）。

【0036】

ビデオゲーム機103aから送信された識別子のセットは、周知の方法で送信される。たとえば、メッセージの送受信に電子メール・システムが使用される場合、識別子のセットはメッセージサーバ113によって受信され、蓄積交換装置に記憶される。メッセージサーバ113は、ビデオゲーム機103bに着信情報を送信する。メッセージの着信情報を受信したユーザBは、メッセージサーバ113へアクセスし、メール・ソフトを使用して、識別子のセットを取得する。

【0037】

図6は、メッセージの送信手順を示す。日本のユーザAのビデオゲーム機103aから送信された識別子のセット601は、「200010101930」「04」「00」「01」である。図6の例に示す識別子のセットは、ユーザAのビデオゲーム機103aに記憶されている、図3の例に示すデータテーブル313aに基づいて作成されたものであり、それぞれ「いつ」「どこで」「誰が」「何をする」というカテゴリの各々の語句に対応している。

【0038】

一方、アメリカのユーザBのビデオゲーム機103bに記憶されているデータテーブル313bにおいて、識別子に対応付けられた語句は、意味内容は共通するが、ビデオゲーム機103aのデータテーブル313aと異なっている。すなわち、データテーブル313bに含まれるテーブルのうち、場所のカテゴリのテーブル600はデータテーブル313a内のテーブル300に相当する。同様に、テーブル602はテーブル302に相当し、テーブル604はテーブル304

に相当する。

【0039】

識別子のセット501を受信したビデオゲーム機103bは、メッセージ送受信プログラムの命令に基づいてデータテーブル313bの検索を行ない、その識別子に対応する語句のセットを抽出する。図5に示す例では、ビデオゲーム機103bのメール・ソフトは識別子のセット501に基づいて、「my home」「with me」「Let's play」という語句を抽出する。

【0040】

このように、識別子のセットを送信することにより、送信側と受信側とで異なる言語を使用していても、メッセージの送受信が可能となる。たとえば、日本語で「こんにちは」と入力すると、対応する識別子「01」が送信される。受信側の環境において識別子「01」に「hello」が対応付けられていれば、受信側の画面には、「hello」と表示される。

【0041】

ビデオゲーム機103bの表示装置215には、図7の例に示すスケジュール登録受付画面が表示される。そして、ビデオゲーム機103bは、画面に表示されているYESボタン701またはNOボタン703の選択を受付けることにより、メッセージを登録するか否かを受付ける（ステップS8005）。

【0042】

ユーザBがビデオゲーム機103bの入力装置213を使用してYESボタンを押下した場合は（ステップS8007のYesルート）、表示されている語句のセットからなるメッセージをスケジュールに登録する（ステップS8009）。スケジュールの登録は、メッセージに含まれる「日時」と、「場所」「行為者」「行為」の各カテゴリーの語句とを対応付けて記憶することにより行なわれる。

【0043】

このようにスケジュールに登録を行なったビデオゲーム機103bは、通信インタフェース211を通じて識別子のセットをプロファイルサーバ115に送信する（ステップS8011）。プロファイルサーバ115は、ビデオゲーム機1

03bから受信した識別子のセットに基づいてユーザBおよびユーザAのスケジュールを更新する。更に、このスケジュールをユーザAのビデオゲーム機103aへ送信し、ビデオゲーム機103aではスケジュールの書き替えを行なうことにより、各ユーザ端末においてスケジュールの整合がとられる。

【0044】

以上、本発明の好適な実施形態を説明したが、本発明はこの実施形態のみに限定されることなく他の種々の態様でも実施することができることは言うまでもない。

【0045】

たとえば、上述の実施形態では、データテーブルを各ユーザ端末において記憶することとしたが、このテーブルをサーバにおいて記憶し、ユーザ端末においてメールソフトを起動したときに当該サーバへアクセスし、データテーブルを取得することとしても良い。このようにデータテーブルを一括管理することにより、ユーザ端末が使用可能な資源が少ない場合であっても、本発明のメッセージ通信方法を利用することができる。

【0046】

また、本実施形態では語句に対応付けた識別子として数字を使用した。が、文字や記号を使用することも可能である。

【0047】

また、図7の例に示すスケジュールの登録受付画面は、メッセージの各カテゴリを列挙する形式としているが、いつ、誰が、どうする等の語句を連結し、文章の形態で表示することとしても良い。

【0048】

本発明は、記憶装置、入力装置、および出力装置からデータおよび命令を受け取り、それらにデータおよび命令を送るように結合されたプロセッサを備えるコンピュータ・システム上で実行可能な1つ以上のコンピュータプログラムを使用して実施することができる。このコンピュータプログラムは、高級手続型プログラミング言語、オブジェクト指向プログラミング言語で、あるいはアセンブリ言語または機械語で記述される。

【 0 0 4 9 】

プロセッサは、コンピュータ・プログラムを記憶装置から受け取ることになる。コンピュータ・プログラムの命令を実体的に組み入れる記憶装置としては、たとえばEPROM、EEPROM、フラッシュメモリ素子などの半導体メモリ素子、内部ハードディスクやリムーバブルディスクなどの磁気ディスク、CD-R等を使用することができる。

【 0 0 5 0 】

【発明の効果】

以上説明したように、請求項1に記載の発明によれば、メッセージを複数の語句（いつ、どこで、だれが等）を選択することで作成し、各語句に識別子を付与して送信するため、文章の解析等を行わずに、メッセージの内容をスケジュールに登録できる。また、メッセージ送信の際には識別子により暗号化を行なうため、メッセージ通信における安全性を確保することができる。また、語句の組み合わせよりもデータ量の少ない識別子のみを送信するため、データ圧縮と同様の効果が得られる。

【 0 0 5 1 】

また、請求項2に記載の発明によれば、識別子のセットのみを送信するため、送信側と受信側とで異なる言語を使用していても、メッセージの送受信が可能となる。

【 0 0 5 2 】

また、請求項3に記載の発明によれば、情報処理装置においてスケジュールの登録を「いつ」「どこで」「誰が」といったカテゴリ毎に入力することが可能となる。

【 0 0 5 3 】

また、請求項4に記載の発明によれば、識別子のみが送信されるため、文章の解析等を行わずに、メッセージの内容をスケジュールに登録できる。

【 0 0 5 4 】

また、請求項5に記載の発明によれば、識別子のみが送信されるため、送信側と受信側とで異なる言語を使用していても、メッセージの送受信が可能となる。

【 0 0 5 5 】

また、請求項 6 に記載の発明によれば、情報処理装置においてスケジュールの登録を「いつ」「どこで」「誰が」といったカテゴリ毎に入力することが可能となる。

【 0 0 5 6 】

また、請求項 7 に記載の発明によれば、スケジュールの登録を行なった受信側から送信側へプロファイルサーバを介して識別子のセットを送信することにより、受信側、プロファイルサーバおよび送信側のスケジュールの整合をとることが可能となる。

【 0 0 5 7 】

また、請求項 8 に記載の発明によれば、メッセージを複数の語句を選択することで作成し、各語句に識別子を付与して送信する方法を実現するため、文章の解析等を行なわずに、メッセージの内容をスケジュールに登録できる。

【 0 0 5 8 】

また、請求項 9 に記載の発明によれば、識別子のみが送信されるため、文章の解析等を行なわずに、メッセージの内容をスケジュールに登録することができる。

【 0 0 5 9 】

また、請求項 1 0 および 1 2 に記載の発明によれば、メッセージを複数の語句を選択することで作成し、各語句に識別子を付与して送信するプログラムを実施できるため、文章の解析等を行なわずに、メッセージの内容をスケジュールに登録できる。また、メッセージ送信の際には識別子により暗号化を行なうため、メッセージ通信における安全性を確保することができる。

【 0 0 6 0 】

さらに、請求項 1 1 および 1 3 に記載の発明によれば、識別子のみが送信されるため、文章の解析等を行なわずに、メッセージの内容をスケジュールに登録できるとともに、メッセージの転送に必要な負荷が軽減される。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明を適用したシステムの構成の一例を示す図である。

【図 2】

ユーザ端末のハードウェア構成の一例を示すブロック図である。

【図 3】

ユーザ端末の記憶装置に記憶されているデータテーブルの一例を示す図である。

【図 4】

本発明の一実施形態に係るスケジュールの登録処理のための処理手順を示すフローチャートである。

【図 5】

ビデオゲーム機の表示手段に表示されるメッセージ入力画面の一例を示す図である。

【図 6】

メッセージの送信手順を示す図である。

【図 7】

ビデオゲーム機の表示手段に表示される画面の一例を示す図である。

【符号の説明】

- 1 0 1 インターネット
- 1 0 2 I S P サーバ
- 1 0 3 a, 1 0 3 b ビデオゲーム機
- 1 0 4 a, 1 0 4 b P C
- 1 1 1 認証サーバ群
- 1 1 2 コンテンツサーバ群
- 1 1 3 メッセージサーバ群
- 1 1 4 メールサーバ群
- 1 1 5 プロファイルサーバ群
- 1 1 6 a, 1 1 6 b ゲームサーバ群
- 2 0 1 C P U
- 2 0 3 R O M

2 0 5 R A M

2 0 7 バス

2 0 9 補助記憶装置

2 1 1 通信インタフェース

2 1 3 入力装置

2 1 5 表示装置

3 0 0、3 0 2、3 0 4、6 0 0、6 0 2、6 0 4 テーブル

3 1 3 a、3 1 3 b データテーブル

6 0 1 識別子のセット

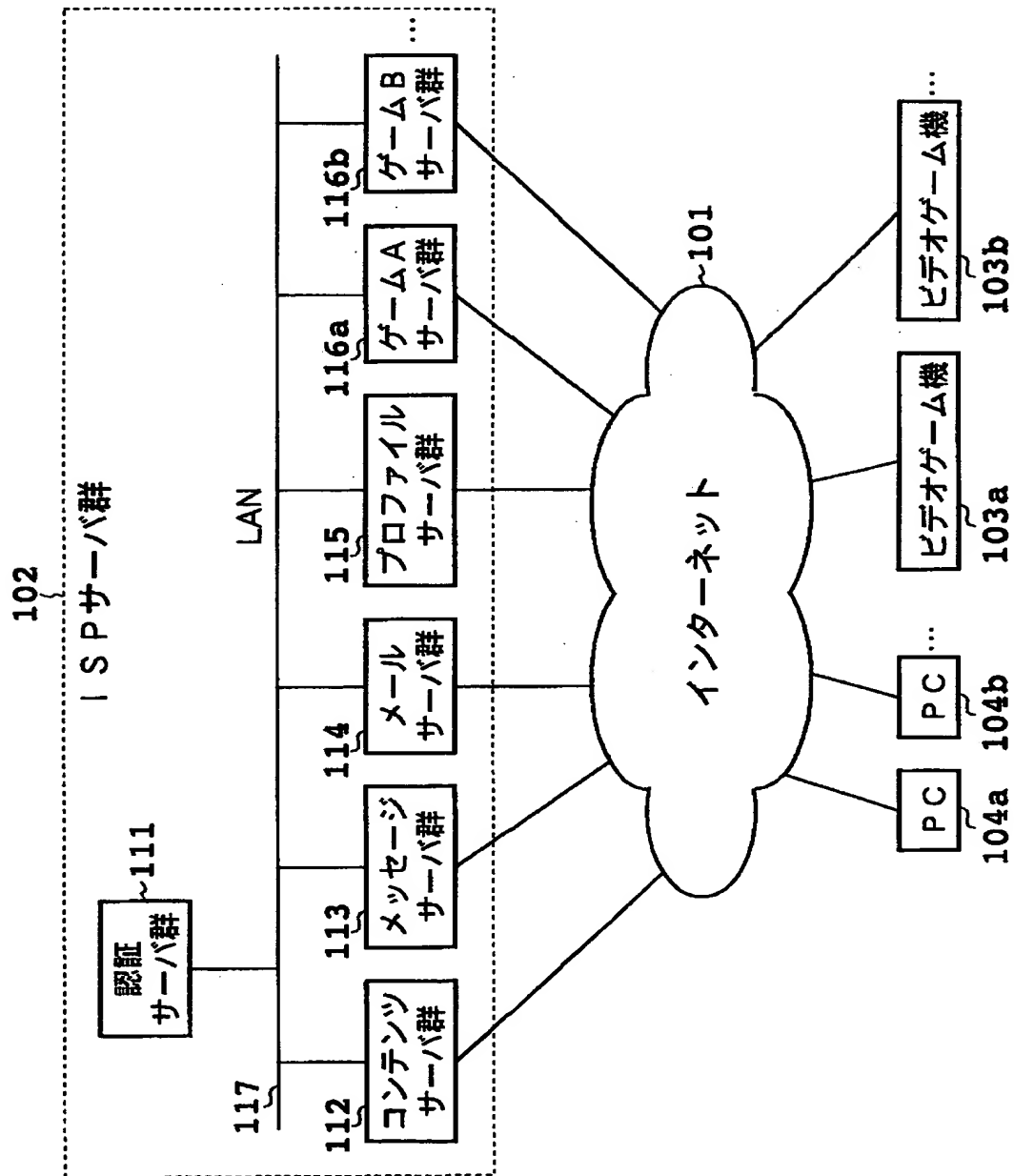
7 0 1 Y E S ボタン

7 0 3 N O ボタン

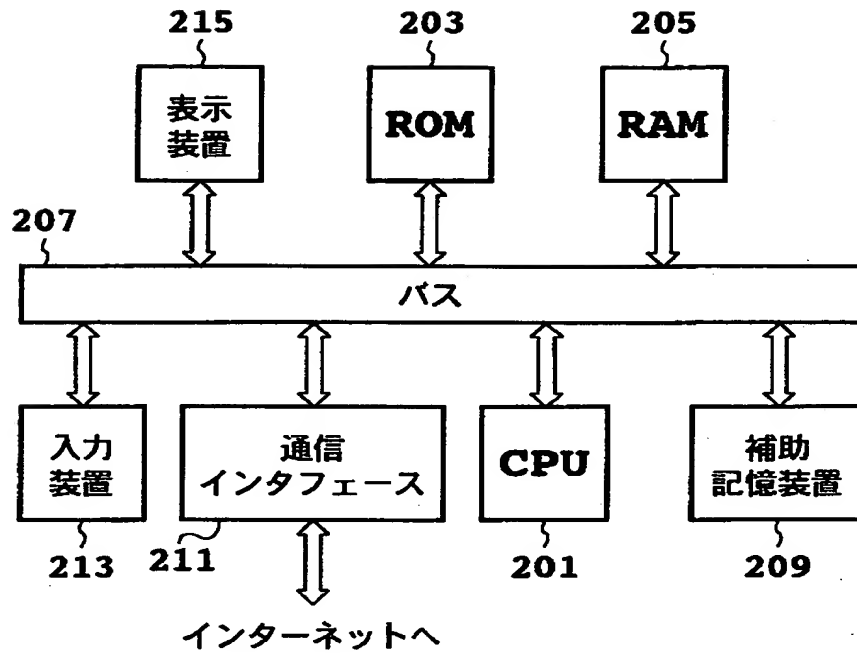
【書類名】

図面

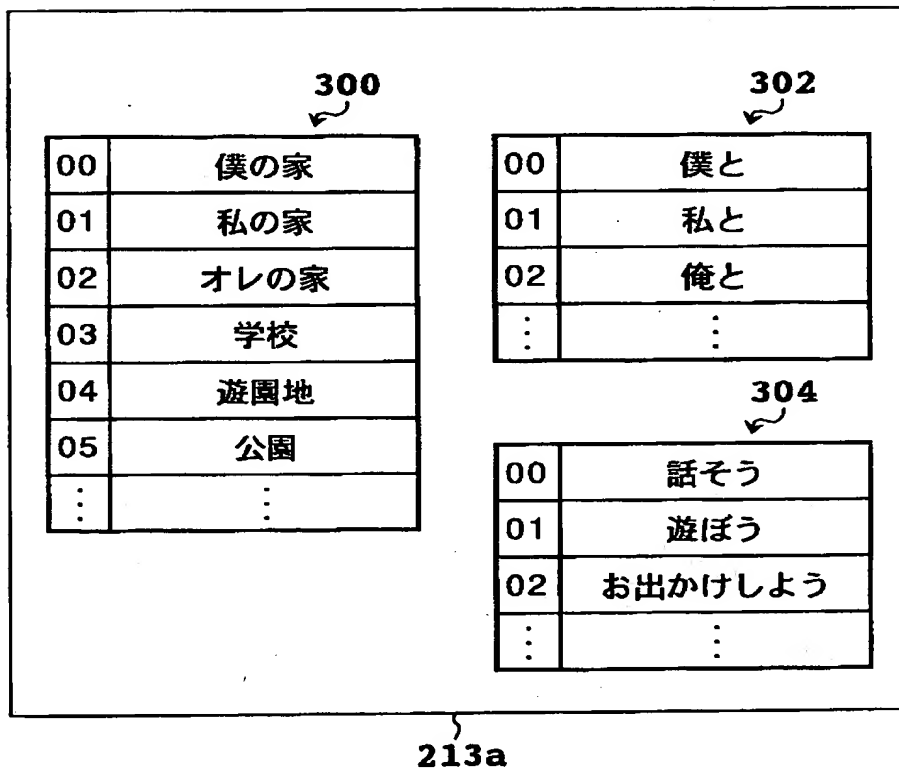
【図 1】



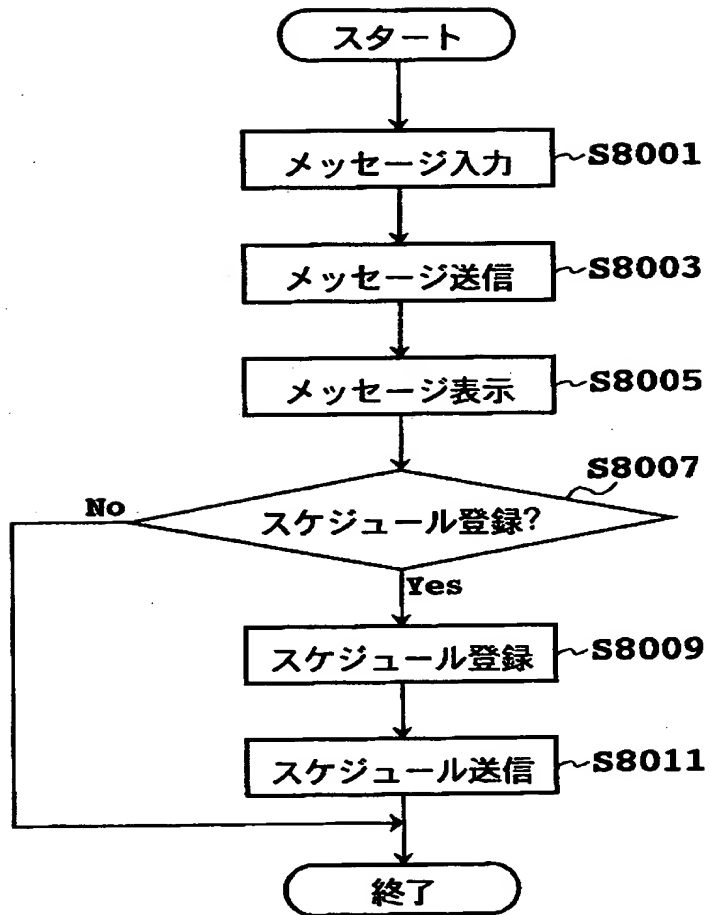
【図 2】



【図 3】



【図4】



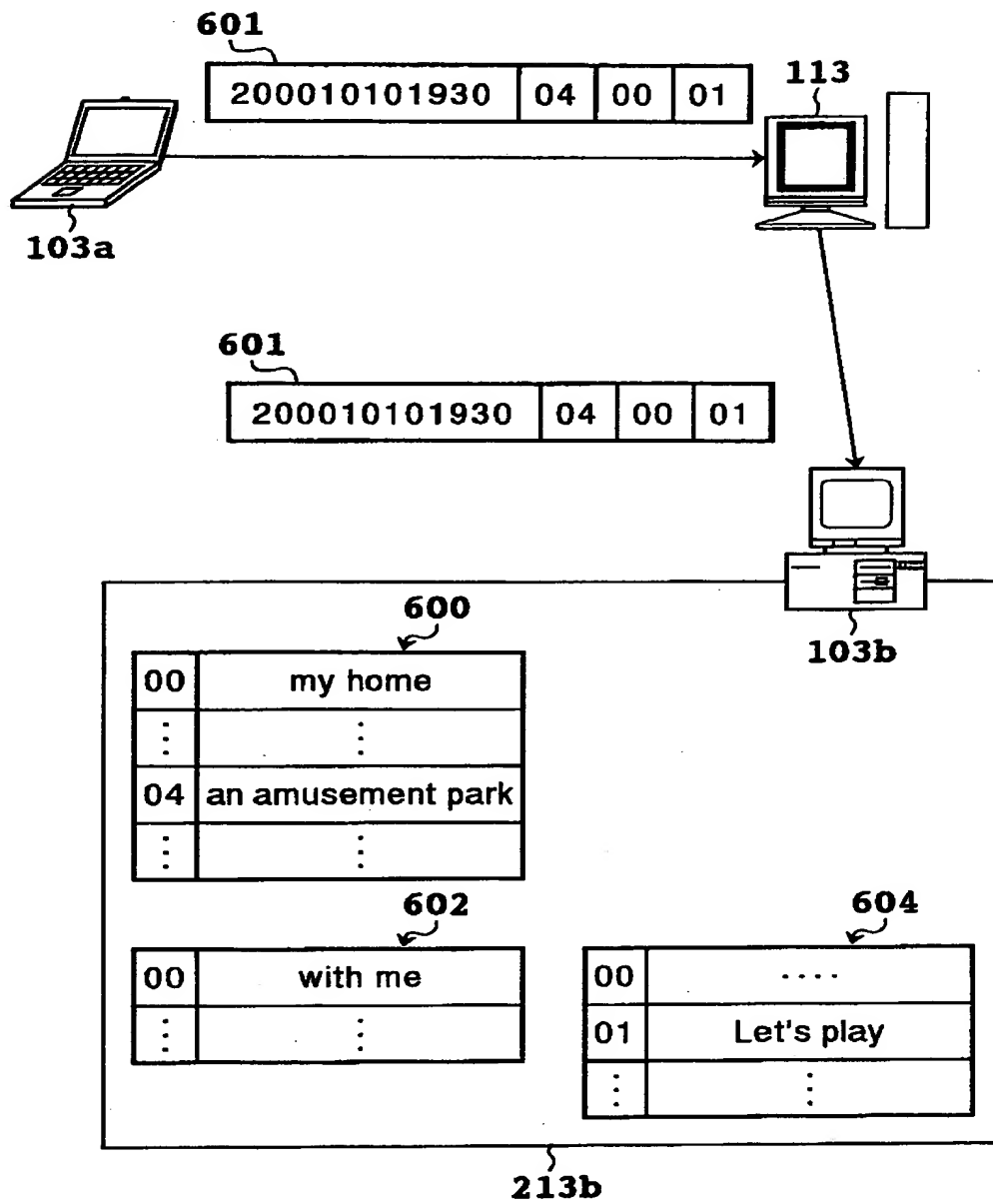
【図5】

お誘いメッセージ入力画面					
	年	月	日	時	分
いつ	2000	10	10	19	30

どこで	僕の家	誰が	僕と	
	私の家		私と	
	オレの家		俺と	
	学校		⋮	
	遊園地		どうする	話そう
	公園			遊ぼう
⋮	お出かけしよう			
	⋮			

10月10日19時30分に遊園地で僕と遊ぼう

【図 6】



【図7】

THE MESSEGE OF INVITATION	
DATE	10-oct-2000
TIME	19:30
PLACE	an amusement park
SUBJECT	Let's play
ATTENDEES	with me

YES
701

NO
703

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 受け取ったメッセージに含まれる内容を解釈し、そのメッセージで指定されたスケジュールを登録する。

【解決手段】 データテーブル 3 1 3 に記憶されている語句を抽出し、語句の一覧を作成して、一覧表に含まれている語句の選択を受付ける（ステップ S 8 0 0 1）。そして、抽出された識別子のセットを送信する（ステップ S 8 0 0 3）。受信側の表示装置 2 1 5 には、スケジュール登録受付画面が表示される（ステップ S 8 0 0 5）。スケジュールの登録を受付けた場合は（ステップ S 8 0 0 7 の Yes ルート）、表示されているメッセージをスケジューラに登録する（ステップ S 8 0 0 9）。

【選択図】 図 4

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[391049002]

1. 変更年月日	1995年 9月25日
[変更理由]	住所変更
住 所	東京都目黒区下目黒1丁目8番1号
氏 名	株式会社スクウェア